

「学び合い」(Cooperative Learning)

～自ら考え、共に高めあう授業づくり～

<高等学校教科指導パワーアップ事業>

岡山県立邑久高等学校

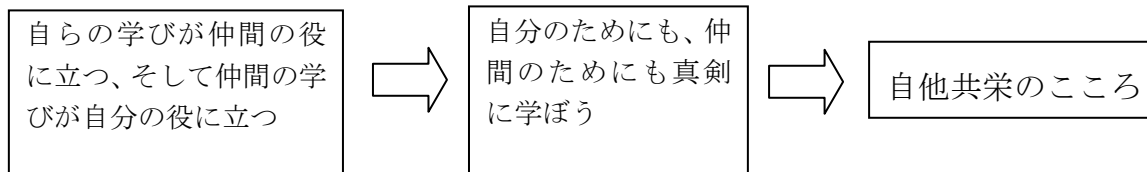
下村 雅和

○「学び合い」導入の経緯の概略

・邑久高校の生徒は

・教師の願い

○邑久高校での「学び合い」とは



協同学習とは

○パワーアップ事業取り組みの概要

「学び合い(協同学習)」を授業に取り入れることによって、基礎的基本的な知識を習得する力・主体的に学ぶ力・協力して学ぶ力を身につけ、さらにそれを応用する力を向上させるよう、次の課題に取り組む。

①<学び合いを促す教材開発>

②<学び合う集団づくり>

③<コミュニケーション能力の育成>

④<応用力の向上>

○邑久高校での実践

邑久高校では中京大学の杉江修治教授にアドバイスをいただきながら、生徒同士が学び合うことで学習への動機づけを図るとともに、生徒のコミュニケーション能力の向上や表現力の向上などを目指している。また、授業のすべての時間を「学び合い」で実施するのではなく、一斉授業が効果的な場面では一斉授業を、グループワークが効果的な場面では「学び合い」を行うなど授業スタイルを固定化するのではなく、教師の判断で自由に授業を組み立てられる柔軟性を持たせている。

「学び合い」のたまかな流れは、

- ①授業の狙いや課題を説明
 - ②個人思考
 - ③4人のグループでまとめ、発表
 - ④振り返り
- であり、この一連の流れは新学習指導要領に示された「生徒が学習の見通しを立てたり学習したことを振り返ったりする活動を取り入れる…」 「言語活動の充実…」を生かすことのできる授業モデルであり、③では「事象を数学的に考察し表現する能力を高める…」ことに通じている。

○平成22年度 研究概要（「学び合い」導入）

- ①「学び合い」職員研修会（4月5日）
- ②公開授業研究会
第1回（6月10日） 第2回（10月7日） 第3回（1月27日）
- ③校内公開授業・研究協議会
数学研究授業（5月31日）、全クラス公開授業・研究協議（6月3日）
1・2年全クラス公開授業・研究協議（10月4日）、ミニ研修会・意見交換（11月16日、6人）
- ④他校の公開授業訪問
岡山市立足守中学校 岡山市立西大寺中学校 関西高等学校商業科・普通科 岡山市立岡輝中学校
広島県立安西高等学校 神戸大学附属住吉中等教育学校
- ⑤その他の取組
協同学習ワークショップ（南山大学）への参加
日本協同教育学会第7回大会（山口県立大学）への参加
6月と10月に教員がお互いの授業を参観する期間を設けた。

○平成23年度 研究概要（「学び合い」の定着と応用）

- ①公開授業研究会
第1回（6月9日） 第2回（11月17日予定） 第3回（1月予定）
- ②校内公開授業・研究協議会
授業公開週間（5月23日～5月27日・10月24日～11月2日・1月）
各教科研究授業・研究協議（6月2日・11月10日・1月）
- ③職員研修
新任者「学び合い」研修（4月5日） 協同学習ワークショップ校内実施（7月21日）
岡山大学高旗浩志准教授による研修会（9月20日・11月8日予定）
岡山大学曾布川拓也教授による指導（10月17日・11月10日予定）
- ④他校の公開授業訪問等
神戸大学附属中等学校住吉校舎 広島県立安西高等学校
岡山市立足守中学校 倉敷市立玉島高等学校 岡山市立西大寺中学校（予定）
- ⑤その他の取組
日本協同教育学会第8回大会（千葉大学）への参加
ビデオで授業を撮影し、お互い研究
生徒の「学び合い」に対する意識調査（5月・11月）で生徒の意識の変化を分析
コミュニケーション調査（5月・11月）で生徒のコミュニケーション力の変化を分析

○数学での実践例

具体的に1次不等式の授業デザインと授業で必ず心がけていることを下に示しておく。

<p>◎1年生 数学I</p> <p>1 テーマ 1次不等式</p> <p>2 ねらい 1次不等式を解くことができる。</p> <p>3 教材等 教科書(数学I)・教科書完成ノート</p> <p>4 おおまかな流れ</p> <p>(1) 本時のねらいと具体的な達成目標を板書 「1次不等式を全員が解くことができるようになる。(練習〇〇番が解けるようになる)」</p> <p>(2) 不等式の解法の説明(一斉)</p> <p>(3) 練習問題を考える(個人)</p> <p>(4) 演習問題の解答, 確認と学び合い(グループ)</p> <p>(5) 発展問題にチャレンジ。ミニホワイトボードで解答を共有(グループ)(参考②)</p> <p>(6) 授業の振り返り(参考①)</p>
<p>(既習事項)</p> <p>○等式の性質 ○1次方程式 ○不等号の意味 ○不等式の性質</p>
<p>(今後の展開)</p> <p>○連立1次不等式 ○1次不等式の文章題</p>

【授業で特に心がけていること】

- 各時間の目標を黒板などに示す。(具体的な達成目標)
- 「学び合い」ができるような教材選びとその分量について十分考慮する。
- グループ全員に役割を与え、その責任を果たすように促す。
- 本時の「学び合い」をした授業の振り返りを行い、目標の達成度の評価・グループでの活動の各自の役割の評価・今日の授業での気づきを確認する。
- 「学び合い」についてのキーワードの確認と徹底
 - ① 全員ができるようになるろう
 - ② 教える者は二度学ぶ
 - ③ グループ内にできない人がいるのは、そのグループ全員の責任である

(参考①) 振り返りに使用している振り返りシート

振り返りシート ()月()日()限
()年()組()番氏名()

今日の授業の目標	(達成度)
A・B・C	
今日の気づき	
今日の班での役割()	貢献度 点/5点
グループの評価 うまくいった ・ まままあまくいった ・ あまりうまくいかなかった	
理由()	



○生徒の数学の「学び合い」の授業に対する意見・感想(1年生対象5月時点での調査より)

- ・友達だから分からないところを詳しく聞ける。教える時は自分にも力が身についていると実感できる。
- ・分からないところなどで、沢山の友達の意見が聞くことができるので良いと思う。
- ・話し合いをすることで、聞いたり、話したりすることが鍛えられる。さらに説明する力もついてきた。

○アンケート

平成23年度1年次生 学習に関するアンケート

①1人より協力した方が
良い結果が得られる (%)

	人数	割合
1 全くそう思わない	2	1.4
2 あまりそう思わない	6	4.1
3 ややそう思う	53	36.1
4 とてもそう思う	86	58.5

(協同志向)

④みんなで話し合っていると
時間がかかる (%)

	人数	割合
1 全くそう思わない	25	17.0
2 あまりそう思わない	55	37.4
3 ややそう思う	57	38.8
4 とてもそう思う	10	6.8

(個人志向)

⑦自分が知りたいこと以外のことを
勉強するのは嫌だ (%)

	人数	割合
1 全くそう思わない	21	14.3
2 あまりそう思わない	60	40.8
3 ややそう思う	45	30.6
4 とてもそう思う	21	14.3

(課題志向・逆転)

⑩勉強する時できない問題を
皆で助け合ってできるようにした (%)

	人数	割合
1 全くそう思わない	2	1.4
2 あまりそう思わない	9	6.1
3 ややそう思う	47	32.0
4 とてもそう思う	89	60.5

(協同志向)

②グループで活動するより
一人の方がやりがいがある (%)

	人数	割合
1 全くそう思わない	27	18.4
2 あまりそう思わない	94	63.9
3 ややそう思う	19	12.9
4 とてもそう思う	7	4.8

(個人志向)

⑤グループだと友達の意見を
聞いて自分の知識が増える (%)

	人数	割合
1 全くそう思わない	2	1.4
2 あまりそう思わない	12	8.2
3 ややそう思う	46	31.3
4 とてもそう思う	87	59.2

(協同志向)

⑧成績とは関係ないと言われた問題も
面白い問題なら解いてみたい (%)

	人数	割合
1 全くそう思わない	17	11.6
2 あまりそう思わない	29	19.7
3 ややそう思う	73	49.7
4 とてもそう思う	28	19.0

(課題志向)

③みんなで意見を出し合う
ことはためになる (%)

	人数	割合
1 全くそう思わない	1	0.7
2 あまりそう思わない	5	3.4
3 ややそう思う	44	29.9
4 とてもそう思う	97	66.0

(協同志向)

⑥友達に教えることは
自分のためになる (%)

	人数	割合
1 全くそう思わない	2	1.4
2 あまりそう思わない	15	10.2
3 ややそう思う	57	38.8
4 とてもそう思う	73	49.7

(協同志向)

⑨問題が解けない友達に解き方を
教えるのは面倒だ (%)

	人数	割合
1 全くそう思わない	65	44.2
2 あまりそう思わない	69	46.9
3 ややそう思う	9	6.1
4 とてもそう思う	4	2.7

(協同志向・逆転)

◎成果と課題について

< 成果 >

< 課題 >